

免許証返納窓口の一元化について

村田俊太郎 議員

問 高齢化が進む中、高齢者による事故が後をたちません。そのため、本市では、免許証返納を積極的に勧められ、5千円分のバス回数券か商品券を提供する支援事業が行われています。しかし、交付までには、警察署や市役所、商工会に何度か足を運ばなければなりません。サービス向上のため、窓口の一元化を求めますが、ご見解は？

答 支援事業の交付には、運転経歴証明書が必要であり公安委員会が窓口のため、市役所窓口の一元化はできません。しかし、バス回数券は市役所窓口で行っているため、商工会商品券につきましても市役所窓口で行えるように、今後も検討してまいりたいと考えています。

・他の質問項目：無料公衆無線LANの拡充について

環境施策について

出口 真一 議員

問 平成29年6月議会でも聞きましたが、第2次環境基本計画策定は完了したのか、進捗状況はどのようになっているのか？ 当市の最近のCO₂削減計画の推進状況はどうか？ また、資源リサイクル事業の取組について現状はどうか。

答 第2次環境基本計画は、2月に環境審議会に諮り、平成29年度末に策定が完了しました。CO₂削減計画は、平成33年度までに16%の削減目標を掲げており、平成28年度末は、約8.9%の削減率となっています。また、自治会等の資源集団回収を行っていますが、排出量が減少しているのが現状で、かんびん丸等を活用し再資源化の啓蒙啓発に力を入れていきたいと考えています。

学力向上の取り組みについて

丸谷 利一 議員

問 学力は、子どもたちの健やかな成長に必要不可欠で生きる力でもある。福井県や秋田県は、全国最高水準の学力で、これらに学ぶ必要がある。現在の学校教育は「結果平等主義」で、伸びる子を伸ばせず、学力の遅れがある子に基礎学力を身につけさせていない。塾に行かなければ志望校に行けない現在の公教育に疑問を感じる。どのような教育施策を講じているのか。

答 学力向上の課題は、学校ごとに必ずしも同一ではないため、各校で実情に合わせて取り組んでいます。例えば、小学校では通常授業以外の読書タイムや計算タイム、学力に応じたプリント学習等、中学校では長期休業中や放課後に補充授業等を行っております。

道徳教育について

乾 充徳 議員

問 本年4月から小学校の道徳教育が始まります。家庭・友達・郷土・生命を大切にす心、人を思いやる心を身につけることはとても重要なことです。市として教育の目標や指導内容についてお答えください。

答 道徳の学習を通じて、自己の生き方と他人とのかわりについて考え、より良く生きようとする力を育むことを目標とします。登場人物の心情の読み取りに偏った「読む道徳」から「考え、議論する道徳」へと質的転換を図ることが重要であり、学校生活全般を通して、実効性を高める指導を取り入れるとともに、系統的・計画的に道徳教育を推進してまいりたいと考えております。

・他の質問項目：空き家対策について

公共施設等の統廃合について

上田 健二 議員

問 ①学校規模適正化等審議会が設置されたことで、地域住民から不安の声が寄せられている。本市もインターネットなどで積極的に情報公開するべきだがどうか。②旧同和事業や公営住宅の跡地が空き地のままになっており、利活用や売却をすすめるべきだがどうか。

答 ①学校規模適正化等審議会の会議及び議事録につきましては、原則公開としたいと考えております。②旧同和事業用地については、平成28年度より随時インターネットによる公売の手続きを行っています。公営住宅の跡地については、適正な管理を行いながら利活用や売却を行っています。

市民サービスの向上について

金銅 成悟 議員

問 市役所市民課の受付窓口では、市民が立っていても職員は座ったままで対応している光景をよく目にします。市民、すなわちお客様が立っているのであれば、職員も立って対応すべきであると思いますが、見解をお聞かせ下さい。その他、市民サービスの向上について9点質問しています。

答 市民課の受付窓口は、低いローカウンターであるため、来庁された市民が立っていても職員は座ったままの対応となっている場合もございます。そこで、比較的短時間で手続きが終了する受付・精算窓口へ、高さのあるハイカウンターを設置し、市民の皆様と同じ目線に立った対応ができるように努めてまいります。